

(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3251723号
(U3251723)

(45)発行日 令和7年6月23日(2025.6.23)

(24)登録日 令和7年6月13日(2025.6.13)

(51)国際特許分類

F I

F 1 6 M 13/00 (2006.01)

F 1 6 M 13/00 S

F 1 6 M 11/22 (2006.01)

F 1 6 M 11/22 G

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全21頁)

(21)出願番号	実願2024-600194(U2024-600194)	(73)実用新案権者	524439278
(86)(22)出願日	令和5年6月2日(2023.6.2)		余帆
(86)国際出願番号	PCT/CN2023/098042		中国広東省深▲せん▼市竜華区竜華街道
(87)国際公開番号	WO2023/236865		景竜社区人民路与八一路交匯処老成環智
(87)国際公開日	令和5年12月14日(2023.12.14)		中心1座15層1511
(31)優先権主張番号	202221444098.6	(74)代理人	100216471
(32)優先日	令和4年6月10日(2022.6.10)		弁理士 瀬戸 麻希
(33)優先権主張国・地域又は機関	中国(CN)	(72)考案者	余帆
			中国広東省深▲せん▼市竜華区竜華街道
			景竜社区人民路与八一路交匯処老成環智
			中心1座15層1511

(54)【考案の名称】 ホルダーサポートベース及びホルダー

(57)【要約】

汎用性に優れたホルダーサポートベース及びホルダーを提供する。

【課題】 フレキシブル台10と、フレキシブル台10に接続するサポート本体20とを含む。フレキシブル台10の底部はフレキシブル台10の固定に用いる固定接続面101を有する。フレキシブル台10は金属フレキシブル板11と、金属フレキシブル板11の外側をカバーするソフトビニール12を有する。サポート本体20はサポート部材21と、電子製品に外付けするアダプター22とを有する。サポート部材21の一端は金属フレキシブル板11に接続され、サポート部材21の另一端はアダプター22に接続される。フレキシブル台10は金属フレキシブル板11とソフトビニール12を含む。金属フレキシブル板11は異なる曲率に曲げることで、フレキシブル台10を異なる曲面に適應させることができ、汎用性に優れる。並びに、ソフトビニ

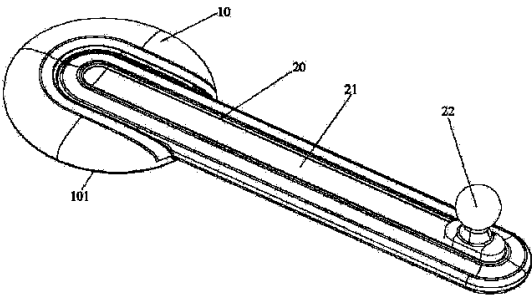


図1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

フレキシブル台と、前記フレキシブル台に接続するサポート本体とを備えるホルダーサポートベースであって、

前記フレキシブル台の底部には、前記フレキシブル台の固定に用いる固定接続面を有しており、

前記フレキシブル台は、金属フレキシブル板と、前記金属フレキシブル板の外側をカバーするソフトビニールを有しており、

前記サポート本体は、サポート部材と、電子製品に外付けするアダプターとを有し、前記サポート部材の一端は前記金属フレキシブル板に接続され、前記サポート部材の另一端は前記アダプターに接続されることを特徴とするホルダーサポートベース。

10

【請求項 2】

前記フレキシブル台の底部には粘着シールを設置し、前記粘着シールは、粘着に用いる取り外し可能粘着面を有し、前記固定接続面を形成することを特徴とする請求項 1 に記載のホルダーサポートベース。

【請求項 3】

前記ソフトビニールは、金属フレキシブル板の下表面をカバーし、前記粘着シールは前記ソフトビニールの底部に設けることを特徴とする請求項 2 に記載のホルダーサポートベース。

【請求項 4】

前記フレキシブル台の底部には、前記フレキシブル台と取り外し可能なように対応する底パッドを有しており、前記粘着シールは、前記底パッドの底部に設置されることを特徴とする請求項 2 に記載のホルダーサポートベース。

20

【請求項 5】

前記フレキシブル台の底部には、第一粘着シートを設置し、前記第一粘着シートの背面には、第一粘着面を有し、前記第一粘着面は、若干の第一固定部材により組成されており、前記底パッドは、第二粘着シートを有し、前記第二粘着シートの正面は、前記第一粘着面と粘着する第二粘着面を有し、前記第二粘着面は、前記第一固定部材に対応する若干の第二固定部材により組成されており、

前記フレキシブル台は、前記第二粘着シート上に取り外し可能なように粘着して定位されることを特徴とする請求項 4 に記載のホルダーサポートベース。

30

【請求項 6】

前記第一固定部材はフックで、それに対応して、前記第二固定部材はフック或いはリングであり、或いは、第一固定部材はフック或いはリングで、それに対応して、第二固定部材はフックであることを特徴とする請求項 5 に記載のホルダーサポートベース。

【請求項 7】

前記金属フレキシブル板の下表面とソフトビニールはマグネット取付凹部を形成し、前記金属フレキシブル板は、マグネット取付凹部中に磁性面を形成し、前記磁性面は、前記マグネット取付凹部に露出し、前記マグネット取付凹部中には、磁石を装置し、前記磁石と磁性面は、吸着して固定しており、前記底パッドは、前記磁石が吸着する磁性シートを有し、前記フレキシブル台は、前記磁性シート上に取り外し可能なように吸着定位されることを特徴とする請求項 4 に記載のホルダーサポートベース。

40

【請求項 8】

前記サポート部材はベース台を有しており、前記ベース台は前記金属フレキシブル板上に固定されることを特徴とする請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載のホルダーサポートベース。

【請求項 9】

前記金属フレキシブル板の上表面とソフトビニールによりベース台取付凹部が形成されており、前記金属フレキシブル板の上表面は前記ベース台取付凹部に露出しており、前記ベース台は前記ベース台取付凹部に配置され、前記ベース台の底部はネジによって金属フ

50

レキシブル板の上表面に螺着されることを特徴とする請求項 8 に記載のホルダーサポートベース。

【請求項 10】

前記サポート部材は、前記金属フレキシブル板の側面から一体に延伸して形成され、前記ソフトビニールは延伸されて、前記サポート部材をカバーすることを特徴とする請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載のホルダーサポートベース。

【請求項 11】

ホルダーは、請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載されたホルダーサポートベースを備えるほかさらに、電子製品を固定するための電子製品固定装置を備えており、前記電子製品固定装置はアダプターに接続することを特徴とするホルダー。

10

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案はホルダー領域技術に関し、特にホルダーサポートベース及びホルダーに関する。

【背景技術】

【0002】

ホルダーサポートベースは、アダプターを介して電子製品固定装置に接続されることで、ホルダーサポートベースが電子製品固定装置を支えており、電子製品固定装置に取り付け位置を提供するために、電子製品を電子製品固定装置の上に配置して電子製品を固定している。

20

【0003】

車載ホルダーサポートベースを例に挙げると、従来の技術では、通常、車載ホルダーサポートベースの底部には吸盤が設けられている。吸盤を通して、車載ホルダーサポートベースを車のダッシュボード箇所に固定するが、車両走行中の衝撃などにより吸盤がダッシュボードから脱落してしまうことが多く、車載ホルダーサポートベースの固定に影響を及ぼしている。

【0004】

その後、車載ホルダーサポートベースのベースプレートの底部に接着部分を設け、車載ホルダーサポートベースを車のダッシュボード箇所に接着固定するものが出現した。

【考案の概要】

30

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

しかし、前述した車載ホルダーサポートベースのベースプレートの底部は水平であり、自動車のダッシュボードは一定の曲率を持つ湾曲面であるため、ベースプレートの底部と車のダッシュボードとの間に隙間が生じ、接着や固定の安定性が劣っていた。そこで、車のダッシュボードの曲面に合わせるために、状況に対応する曲面のあるベースプレートが設計された。しかし、車のダッシュボードにはそれぞれ一定の違いがあり、その結果、この種の曲面のベースプレートは、さまざまな車両にうまく適合できず、汎用性が低いという欠点がある。よって、新しい技術案によって前述の欠点を解決する必要に迫られている。

【課題を解決するための手段】

40

【0006】

本考案は先行技術に存在する欠点を解決するため、ホルダーサポートベース及びホルダーを提供することを主な目的とする。本考案のフレキシブル台は、金属フレキシブル板と、ソフトビニールとを備える。金属フレキシブル板は、フレキシブル台をさまざまな曲面に適合させるため、さまざまな曲率に曲げることができ、優れた汎用性を備える。並びに、ソフトビニールは金属フレキシブル板に対して保護作用を発揮し、金属フレキシブル板の展延性を高めることができる。

【0007】

前述の目的を実現するため、本考案では下記のような技術案を提案する。

【0008】

50

ホルダーサポートベースは、フレキシブル台と、フレキシブル台に接続するサポート本体とを有する。フレキシブル台の底部には、フレキシブル台の固定に用いる固定接続面を有する。

【0009】

フレキシブル台は、金属フレキシブル板と、金属フレキシブル板の外側をカバーするソフトビニールを有する。金属フレキシブル板は、フレキシブル台をさまざまな曲面に適合させるため、さまざまな曲率に曲げることができ、優れた汎用性を備える。サポート本体は、サポート部材と、電子製品に外付けするアダプターとを有しており、サポート部材の一端は、金属フレキシブル板に接続され、サポート部材のもう一端はアダプターに接続される。

10

【0010】

フレキシブル台の底部には粘着シールを設置する。粘着シールは、粘着に用いる取り外し可能粘着面を有しており、固定接続面を形成する。

【0011】

ソフトビニールは、金属フレキシブル板の下表面をカバーし、粘着シールはソフトビニールの底部に設ける。

【0012】

フレキシブル台の底部には、フレキシブル台と取り外し可能なように対応する底パッドを有しており、粘着シールは、底パッドの底部に設置される。

【0013】

フレキシブル台の底部には、第一粘着シートを設置し、第一粘着シートの背面には、第一粘着面を有し、第一粘着面は、若干の第一固定部材により組成されている。底パッドは、第二粘着シートを有し、第二粘着シートの正面は、第一粘着面と粘着する第二粘着面を有し、第二粘着面は、第一固定部材に対応する若干の第二固定部材により組成されている。フレキシブル台は、第二粘着シート上に取り外し可能なように粘着して定位される。

20

【0014】

第一固定部材はフックで、それに対応して、第二固定部材はフック或いはリングである。或いは、第一固定部材はフック或いはリングで、それに対応して、第二固定部材はフックである。

【0015】

金属フレキシブル板の下表面とソフトビニールはマグネット取付凹部を形成し、金属フレキシブル板は、マグネット取付凹部中に磁性面を形成する。磁性面は、マグネット取付凹部に露出しており、マグネット取付凹部中には磁石を装置し、磁石と磁性面は吸着して固定する。底パッドは、磁石が吸着する磁性シートを有しており、フレキシブル台は、磁性シート上に取り外し可能なように吸着定位される。

30

【0016】

サポート部材はベース台を有しており、ベース台は金属フレキシブル板上に固定される。

【0017】

金属フレキシブル板の上表面とソフトビニールによりベース台取付凹部が形成されており、金属フレキシブル板の上表面はベース台取付凹部に露出する。ベース台はベース台取付凹部内に配置され、ベース台の底部はネジによって金属フレキシブル板の上表面に螺着される。

40

【0018】

サポート部材は、金属フレキシブル板の側面から一体に延伸して形成され、ソフトビニールは延伸されてサポート部材をカバーする。

【0019】

ホルダーは、ホルダーサポートベースを備え、さらに、電子製品を固定するための電子製品固定装置を備えており、電子製品固定装置はアダプターに接続する。

【0020】

前述したように本考案は、先行技術との比較から顕著な長所と効果的な効果を有している

50

ことがわかる。具体的には下記のようなものである。

【0021】

本考案は主に、フレキシブル台は、金属フレキシブル板と、ソフトビニールとを備える。金属フレキシブル板は、フレキシブル台をさまざまな曲面に適合させるため、さまざまな曲率に曲げることができ、優れた汎用性を備える。並びに、ソフトビニールは金属フレキシブル板に対して保護作用を発揮し、金属フレキシブル板の展延性を高めることができる。

【0022】

本考案は次に、フレキシブル台の底部には、フレキシブル台と取り外し可能なように対応する底パッドを有し、粘着シールは、底パッドの底部に設置される。フレキシブル台と底パッドとの間は、粘着定位、吸着定位を採用するため、取り付けに便利である。

【0023】

さらに、サポート部材は、金属フレキシブル板の側面から一体に延伸して形成されており、これによりサポート部材も湾曲するフレキシブル性を備え、角度調整が便利である。

【図面の簡単な説明】

【0024】

【図1】本考案による第一実施形態の立体模式図（まっすぐな状態）である。

【図2】本考案による第一実施形態の断面図である。

【図3】本考案による第一実施形態にマグネット台を組み合わせて、ダッシュボードに応用する様子を示す模式図である。

【図4】本考案による第二実施形態の立体模式図（まっすぐな状態）である。

【図5】本考案による第二実施形態の断面図である。

【図6】図5中A箇所の一部拡大図である。

【図7】本考案による第二実施形態の立体模式図（曲がった状態）である。

【図8】本考案による第二実施形態にマグネット台を組み合わせて使用する様子を示す模式図（まっすぐな状態）である。

【図9】本考案による第二実施形態にマグネット台を組み合わせて使用する様子を示す模式図（曲がった状態）である。

【図10】本考案による第二実施形態にクランピング固定台を組み合わせて使用する様子を示す模式図（曲がった状態）である。

【図11】本考案による第三実施形態の立体模式図（まっすぐな状態）である。

【図12】本考案による第三実施形態の断面図である。

【図13】図12中B箇所の一部拡大図である。

【図14】本考案による第四実施形態の立体模式図である。

【図15】本考案による第四実施形態の断面図である。

【図16】本考案による第四実施形態にマグネット台を組み合わせて、ダッシュボードに応用する様子を示す模式図である。

【考案を実施するための形態】

【0025】

本考案の構造的特徴と機能をより明確にするため、添付の図面を参照しながら本考案の具体的な実施形態について詳細に説明する。

【0026】

図1～図3に示すように、本考案による第一実施形態の具体構造は、フレキシブル台10、フレキシブル台10に接続するサポート本体20を有する。

【0027】

フレキシブル台10の底部には、フレキシブル台10の固定に用いる固定接続面101を有する。フレキシブル台10は、金属フレキシブル板11、金属フレキシブル板11外をカバーするソフトビニール12を有する。サポート本体20は、サポート部材21、電子製品に外付けするアダプター22を有する。サポート部材21の一端は、金属フレキシブル板11に接続され、サポート部材21のもう一端はアダプター22に接続される。

【0028】

サポート部材21は、金属フレキシブル板11の側面から一体に延伸して形成される。ソフトビニール12は延伸されて、サポート部材21をカバーする。アダプター22の固定端はサポート部材21に設置され、アダプター22の接続端はソフトビニール12外に露出する。アダプター22には電子製品固定装置30を接続する。電子製品固定装置30はマグネット台或いはクランピング固定台で、電子製品の固定に用いるが、これに制限されない。アダプター22は通常、ユニバーサルボールヘッドである。

【0029】

フレキシブル台10の底部には、粘着シール40を設置する。粘着シール40は、粘着に用いる取り外し可能粘着面41を有し、固定接続面101を形成する。好ましくは、ソフトビニール12は、金属フレキシブル板11の下表面を覆い、粘着シール40は、ソフトビニール12の底部に設置される。

10

【0030】

図4から図10に示すように、本考案による第二実施形態の具体構造の大部分の構造は、第一実施形態と同じだが、その違いは次のとおりである。

【0031】

フレキシブル台10の底部には、ソフトビニール12と取り外し可能なように対応する底パッド50を有し、粘着シール40は、底パッド50の底部に設置される。

【0032】

フレキシブル台10の底部には、第一粘着シート60を設置し、第一粘着シート60の背面には、第一粘着面61を有する。第一粘着面61は、若干の第一固定部材により組成される。底パッド50は、第二粘着シート51を有し、粘着シール40は、第二粘着シート51の背面に位置する。第二粘着シート51の正面には、第一粘着面61と粘着する第二粘着面511を有する。第二粘着面511は、若干の第一固定部材と対応する第二固定部材により組成される。フレキシブル台10は、第二粘着シート51上に取り外し可能なように粘着して定位される。第一粘着面61と第二粘着面511の接続は温度の影響が小さく、直射日光の下でも脱落しにくく、衝撃を緩和する役割を果たし、揺れによって脱落しにくい安定性がある。

20

【0033】

具体的には、第一固定部材は、フックで、それに対応して、第二固定部材は、フック或いはリングである。或いは、第一固定部材は、フック或いはリングで、それに対応して、第二固定部材はフックである。

30

【0034】

粘着シール40は3Mシールである。実際に使用する際には、粘着シール40の背面に取り除ける膜を覆設する。第二粘着シート51を貼る必要のある場合、まず取り除ける膜をはがしてから貼り付ける。取り除ける膜は粘着シール40を保護するものであり、チリやホコリ、汚れ等による粘着シール40の粘着力への影響を防ぐ。

【0035】

通常、第一粘着面61と第二粘着面511の粘着力は粘着シール40の背面の粘着力よりも小さく、第一粘着シート60を第二粘着シート51からはがす時には、第一粘着シート60もまた、それを貼った箇所から離脱することはない。

40

【0036】

本実施形態において、粘着シール40の正面を直接、第二粘着シート51の背面に固着する。または、第二粘着シート51の背面にまず、強化シートを固定設置し、さらに粘着シール40の正面を強化シートの背面に固定してもよく、これに制限されないものとする。ただ、底パッド50に第二粘着面511と、取り外し可能粘着面41とを備えればよいだけである。

【0037】

本実施形態において、第一固定部材はフックで、第二固定部材はリングである。車両が揺れた時であっても、フックとリングの間の接続具が一定の変形量を有しているため、衝撃

50

緩衝作用を発揮し、フレキシブル台１０は底パッド５０から脱落し難く、安定性が良好である。またこれを、第一固定部材をフック、第二固定部材もフックとし、両者のフックをキノコの頭形状に上下に掛けるように設計してもよい。並びに、第一固定部材と第二固定部材を交換し、即ち、第一固定部材をフック又はリングとし、第二固定部材をフックとしてもよい。

【００３８】

図１１～図１３には、本考案による第二実施形態の具体的構造を示す。その構造は第二実施形態とほぼ同じであるが、相違点は下記のとおりである。

【００３９】

金属フレキシブル板１１の下表面とソフトビニール１２は、マグネット取付凹部１０２を形成する。金属フレキシブル板１１は、マグネット取付凹部１０２中に磁性面１０３を形成する。磁性面１０３は、マグネット取付凹部１０２に露出し、マグネット取付凹部１０２中には、磁石７０を装置する。磁石７０と磁性面１０３は、吸着して固定する。底パッド５０は、磁石７０が吸着する磁性シートを有する。粘着シール４０は、磁性シート）の背面に位置する。磁性シート５２は、磁石或いは磁性金属片である。磁性シート５２が磁石である時、磁石はソフト磁石で、曲げることができる。磁性シートが磁性金属片である時、磁性金属片は変形可能なように設置される。フレキシブル台１０は、磁性シート５２上に取り外し可能なように吸着定位される。

10

【００４０】

通常、金属フレキシブル板１１は鉄材質であり、磁石７０を磁性面１０３とする。並びに、ソフトビニール１２の底部には磁石７０を覆うための滑り止めマット８０を設置する。フレキシブル台１０は滑り止めマット８０の底部を介して底パッド５０の上部と吸着し合う。

20

【００４１】

また、金属フレキシブル板１１はアルミニウム材質としてもよい。金属フレキシブル板１１の下表面は、ネジで鉄片を螺着することで、磁石７０を磁性面１０３とする。

【００４２】

図１４～図１６には、本考案による第二実施形態の具体的構造を示す。その構造は第一実施形態とほぼ同じであるが、相違点は下記のとおりである。

【００４３】

サポート部材２１はベース台２１１を備え、ベース台２１１は金属フレキシブル板１１上に固定する。具体的には、金属フレキシブル板１１の上表面とソフトビニール１２とがベース台取付凹部元１０４を形成し、金属フレキシブル板１１の上表面はベース台取付凹部１０４に露出する。ベース台２１１はベース台取付凹部１０４中に位置し、ベース台２１１の底部はネジで金属フレキシブル板１１の上表面に螺着する。これにより金属フレキシブル板１１上のベース台２１１を固定した箇所は固定区１０５となり、固定区外の金属フレキシブル板１１はフレキシブル区１０６となる。

30

【００４４】

ベース台２１１と、サポート部材２１と、アダプター２２とは下から上へ一体成型で設置される。ベース台２１１、サポート部材２１はともに上が小さく下が大きい錐形を構成しており、アダプター２２はサポート部材２１の上部から外側へと延伸設置される。なお、アダプター２２は上向きに傾斜して設置される。

40

【００４５】

本考案の設計の重点は以下の通りである。

主に、フレキシブル台１０は、金属フレキシブル板１１と、ソフトビニール１２を有しており、金属フレキシブル板１１は異なる曲率に曲げることで、フレキシブル台１０を異なる曲面に適応させることができ、汎用性に優れる。並びに、ソフトビニール１２は金属フレキシブル板１１に対して保護作用を発揮し、金属フレキシブル板１１の展延性を高めることができる。

【００４６】

50

次に、フレキシブル台 10 の底部には、フレキシブル台 10 と取り外し可能なように対応する底パッド 50 を有する。粘着シール 40 は、底パッド 50 の底部に設置される。フレキシブル台 10 と底パッド 50 との間は、粘着定位、吸着定位を採用するため、取り付けに便利である。

【0047】

さらに、サポート部材は金属フレキシブル板 11 の側面から一体に延伸して構成されているため、サポート部材も湾曲するフレキシブル性を有しており、角度調整に便利である。

【0048】

以上は、本考案による実施形態に過ぎず、本考案の技術範囲に何らかの制限を加えるものではない。よって、本考案の技術的性質に基づいて、上記の実施形態に加えられた軽微な修正、同等の変更、および修正は、依然としてこの本考案の技術的解決策の範囲内に含まれる。

10

【符号の説明】

【0049】

- 10 フレキシブル台
- 11 金属フレキシブル板
- 12 ソフトビニール
- 101 固定接続面
- 102 マグネット取付凹部
- 103 磁性面
- 104 ベース台取付凹部
- 105 固定区
- 106 フレキシブル区
- 20 サポート本体
- 21 サポート部材
- 211 ベース台
- 22 アダプター
- 30 電子製品固定装置
- 40 粘着シール
- 41 取り外し可能粘着面
- 50 底パッド
- 51 第二粘着シート
- 511 第二粘着面
- 52 磁性シート
- 60 第一粘着シート
- 61 第一粘着面
- 70 磁石
- 80 滑り止めマット

20

30

40

50

【図面】

【図 1】

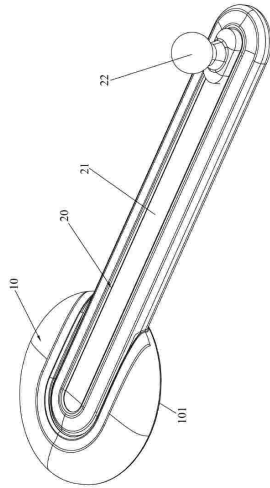


図 1

【図 2】

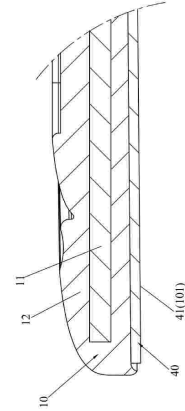


図 2

10

20

【図 3】

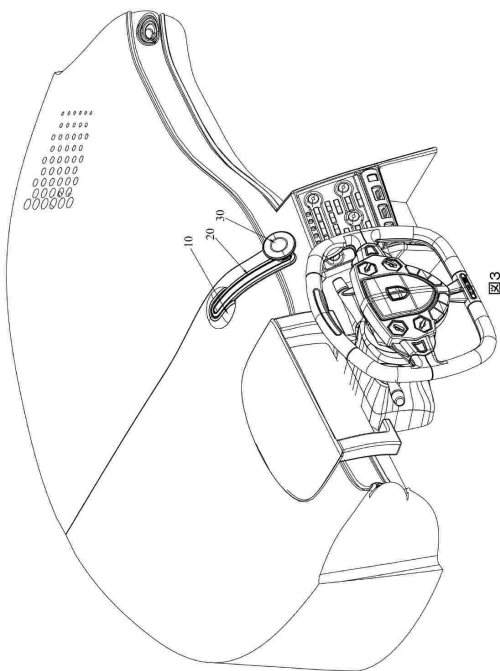


図 3

【図 4】

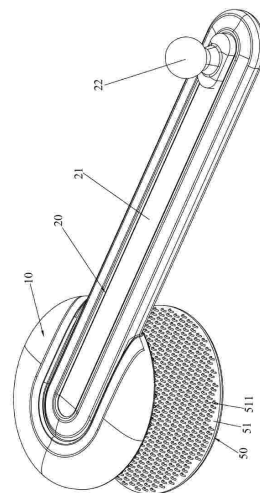


図 4

30

40

50

【図 5】

【図 6】

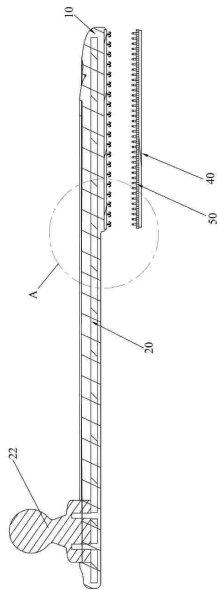


図 5

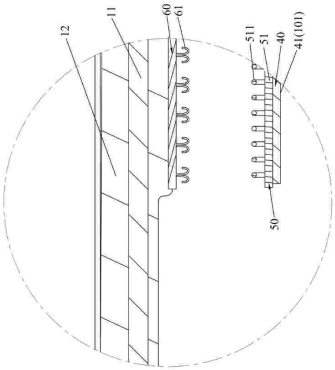


図 6

【図 7】

【図 8】

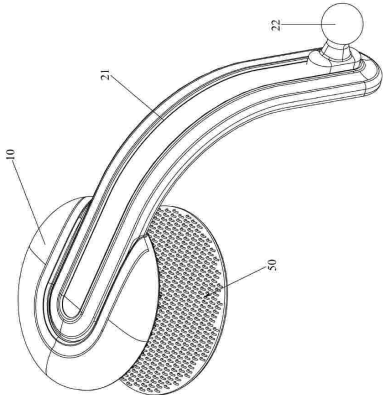


図 7

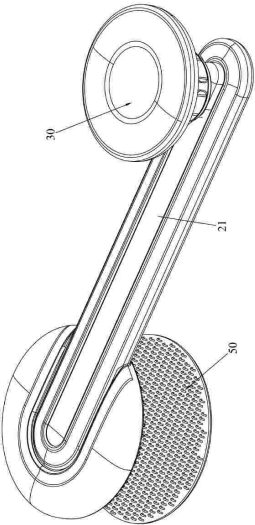


図 8

10

20

30

40

50

【図 9】

【図 10】

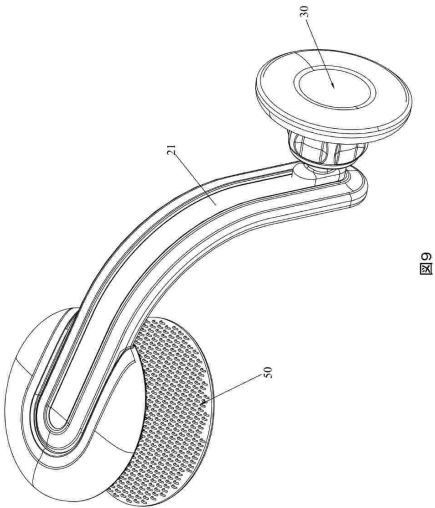


図 9

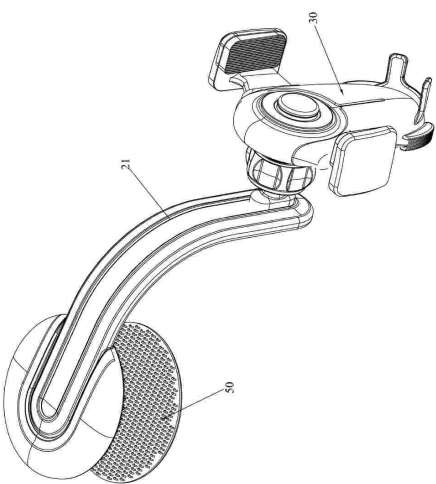


図 10

【図 11】

【図 12】

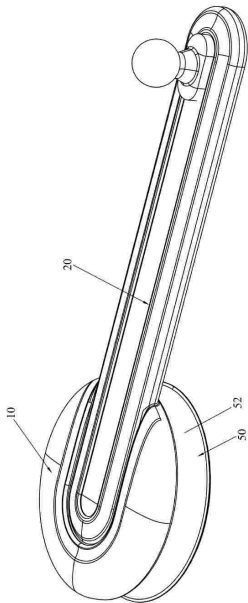


図 11

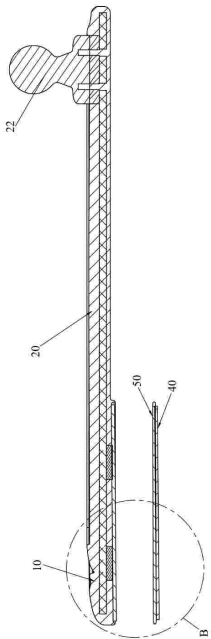


図 12

10

20

30

40

50

【図 1 3】

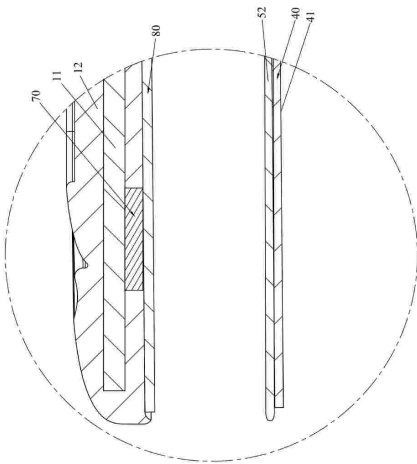


図13

【図 1 4】

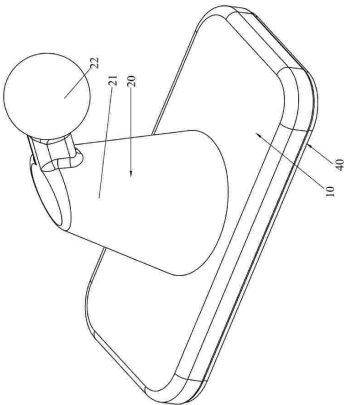


図14

10

20

【図 1 5】

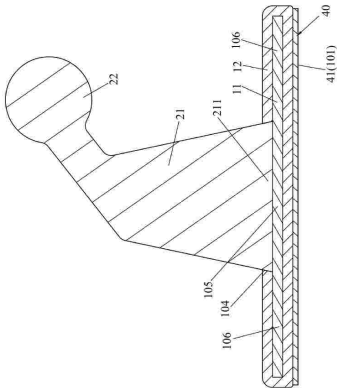


図15

【図 1 6】

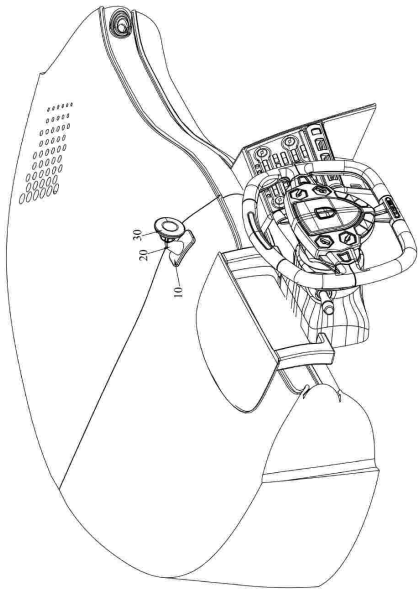


図16

30

40

50

【手続補正書】

【提出日】令和6年11月28日(2024.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

10

本考案はホルダー領域技術に関し、特にホルダーサポートベース及びホルダーに関する。

【背景技術】

【0002】

ホルダー及びサポートホルダーは、アダプターと固定装置を介してタブレットや電子製品に接続され、固定ベースは電子製品をサポートするホルダーを固定する。

【0003】

車載ホルダーを例に挙げると、従来の技術では、通常、車載ホルダーのサポートホルダーの底部には吸盤が設けられている。

吸盤を通して、車載ホルダーを車のダッシュボードまたはフロントガラスに固定するが、車両走行中の衝撃などにより吸盤が脱落してしまうことが多く、ドライバーの不便を招いている。

20

【0004】

その後、車載ホルダーサポートベースの底面に接着装置を備えた最適化設計が登場し、車載ホルダーサポートベースが車のダッシュボードに接着固定されるようになった。

しかし、サポート台のベースプレートは全て水平であり、また、自動車のダッシュボードの多くは一定の曲率を持っているため、ベースプレートと自動車のダッシュボードとの間に隙間が生じ、接着や固定の安定性が劣る。

そこで、車のダッシュボードの曲面に合わせて、さらに曲面を持たせたベースプレートが設計された。

30

しかし、車のダッシュボードにはそれぞれ一定の違いがあるため、その結果、この種の曲面のベースプレートは、さまざまな車両にうまく適合できず、汎用性が低い。

【0005】

本案PCT/CN2023/098042 PCTの審査段階において、審査官は引証案D1で引用された特許文献1が本件の新規性と非自明性に影響を与えているとしている。

しかし、特許文献1の明細書、要約及び図5から、特許文献1の金属ベルト及びゴムプレート1が、湾曲したダッシュボードに取り付けることができる携帯電話ホルダーの設置装置を指しているだけであり、その柔軟な構造は固定方法のみに役立つことが容易に理解できる。

【0006】

40

審査官はまた、引証案D3で引用された特許文献2が、本案実用新案登録請求項10の非自明性に影響を及ぼすとしている。

しかし、特許文献2の明細書、要約及び図4から、特許文献2の金属製ウェイトユニット及びカバーユニット2が、携帯電話ホルダーを置くためのクッション台を指しており、あらかじめ曲率を調整した上で、湾曲したダッシュボード上に固定されるため、その柔軟な構造特性が、同様に固定にのみ使用されるのは、明らかである。

【0007】

さらに、前述の先行技術中のホルダー部分には、重大な欠陥が隠されている。

特許文献1は、ホルダー3の長さが短すぎるため、人間の目と画面との間の距離と角度の調整スペースが制限される。

50

これにより、ドライバーが変わると、に悪影響が生じる。

また、特許文献2では、人間の目から画面までの距離と角度の延長と調整を容易にするため、外部の回転可能な長いロッド4を接続して、ユーザーエクスペリエンスを最適化するため、必要がある。

しかし、これにより製造と組立のコストが増加するだけでなく、製品の故障率も増加する。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0008】

【特許文献1】KR200245259Y1号明細書

【特許文献2】CN201521772U号明細書

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0009】

前記先行技術のホルダー部分には、重大な欠陥がある。

【課題を解決するための手段】

【0010】

本考案は先行技術に存在する欠点を解決するため、ホルダーサポートベース及びホルダーを提供し、フレキシブル台、サポート本体を有し、フレキシブル台は、金属フレキシブル板、ソフトビニールを有し、サポート部材は、金属フレキシブル板の側面から一体に延伸して形成され、これによりサポート部材も湾曲フレキシブル性を備え、ソフトビニールは、カバーサポート部材を延伸し、これにより湾曲したダッシュボード上での使用時、あらかじめフレキシブル台の曲率を調整した後、固定接続面を通して、フレキシブル台をダッシュボード上に固定し、使用者は金属フレキシブル性を備えるサポート部材を必要に応じてねじったり曲げたりでき、人間の目から画面までの距離と角度を適当に調整でき、使用者が変わった際には、サポート部材の曲率及び角度を調整するだけでよく、フレキシブル台に対して調整する必要がないため、汎用性に優れ、さらにソフトビニールは、金属フレキシブル板に対して保護作用を発揮するホルダーサポートベース及びホルダーに関する。

【0011】

本考案によるホルダーサポートベースは、フレキシブル台、フレキシブル台に接続するサポート本体を有し、

該フレキシブル台の底部には、フレキシブル台の固定に用いる固定接続面を有し、

該フレキシブル台は、金属フレキシブル板、該金属フレキシブル板外をカバーするソフトビニールを有し、

金属フレキシブル板は、フレキシブル台をさまざまな曲面に適合させるため、さまざまな曲率に曲げることができ、優れた汎用性を備え、

該サポート本体は、サポート部材、電子製品に外付けするアダプターを有し、該サポート部材の一端は、金属フレキシブル板に接続され、該アダプターは、サポート部材の反対端に接続され、該サポート部材は、金属フレキシブル板の側面から一体に延伸して形成され、該ソフトビニールはカバーサポート部材を延伸する。

【0012】

先行技術と比較すると、本考案には明確な長所があることが、上述の技術方案から、以下のように分かる。

主に、フレキシブル台は、金属フレキシブル板、ソフトビニールを有し、サポート部材は、金属フレキシブル板の側面から一体に延伸して形成され、これによりサポート部材も湾曲フレキシブル性を備え、ソフトビニールは、カバーサポート部材を延伸し、これにより湾曲したダッシュボード上での使用時、あらかじめフレキシブル台の曲率を調整した後、固定接続面を通して、フレキシブル台をダッシュボード上に固定し、使用者は金属フレキシブル性を備えるサポート部材を必要に応じてねじったり曲げたりでき、人間の目から画

10

20

30

40

50

面までの距離と角度を適当に調整でき、使用者が変わった際には、サポート部材の曲率及び角度を調整するだけでよく、フレキシブル台に対して調整する必要がないため、汎用性に優れ、さらにソフトビニールは、金属フレキシブル板に対して保護作用を発揮する。次に、フレキシブル台の底部には、ソフトビニールと取り外し可能なように対応する底パッドを有し、該粘着ステッカーは、底パッドの底部に設置され、フレキシブル台と底パッドとの間は、粘着定位、吸着定位を採用するため、取り付けに便利である。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】本考案による第一実施形態の立体模式図（まっすぐな状態）である。

【図2】本考案による第一実施形態の断面図である。

10

【図3】本考案による第一実施形態にマグネット台を組み合わせて、ダッシュボードに応用する様子を示す模式図である。

【図4】本考案による第二実施形態の構造模式図である。

【図5】本考案による第三実施形態の構造模式図である。

【図6】特許文献1中図5の構造模式図である。

【図7】特許文献2中図4の構造模式図である。

【考案を実施するための形態】

【0014】

本考案の構造的特徴と機能をより明確に説明するため、添付の図面と具体的な実施形態と併せて、本考案について詳細に説明する。

20

【0015】

図1～図3に示すように、本考案による第一実施形態の具体構造は、フレキシブル台10、フレキシブル台10に接続するサポート本体20を有する。

【0016】

フレキシブル台10の底部には、フレキシブル台10の固定に用いる固定接続面101を有する。

フレキシブル台10は、金属フレキシブル板11、金属フレキシブル板11外をカバーするソフトビニール12を有する。

サポート本体20は、サポート部材21、電子製品に外付けするアダプター22を有する。

30

サポート部材21の一端は、金属フレキシブル板11に接続され、アダプター22は、サポート部材21の反対端に接続される。

【0017】

サポート部材21は、金属フレキシブル板11の側面から一体に延伸して形成される。

ソフトビニール12は、カバーサポート部材21を延伸する。

アダプター22の固定端は、サポート部材21の、金属フレキシブル板11から離れた一端に設置され、アダプター22の接続端はソフトビニール12外に露出する。

アダプター22には、電子製品固定装置30を接続する。

電子製品固定装置30は、マグネット台或いはクランピング固定台で、電子製品の固定に用いるが、これに制限されない。

40

アダプター22は通常は、ユニバーサルボールヘッドである。

【0018】

フレキシブル台10の底部には、粘着ステッカー40を設置する。

粘着ステッカー40は、粘着に用いる取り外し可能粘着面41を有し、固定接続面101を形成する。

好ましくは、ソフトビニール12は、金属フレキシブル板11の下表面を覆い、粘着ステッカー40は、ソフトビニール12の底部に設置される。

【0019】

図4に示すように、本考案による第二実施形態の具体構造の大部分の構造は、第一実施形態と同じだが、その違いは次のとおりである。

50

【００２０】

フレキシブル台１０の底部には、ソフトビニール１２と取り外し可能なように対応する底パッド５０を有し、粘着ステッカー４０は、底パッド５０の底部に設置される。

【００２１】

フレキシブル台１０の底部には、第一粘着シート６０を設置し、第一粘着シート６０の背面には、第一粘着面６１を有する。

第一粘着面６１は、若干の第一固定部材により組成される。

底パッド５０は、第二粘着シート５１を有し、粘着ステッカー４０は、第二粘着シート５１の背面に位置する。

第二粘着シート５１の正面には、第一粘着面６１と粘着する第二粘着面５１１を有する。

第二粘着面５１１は、若干の第一固定部材と対応する第二固定部材により組成される。

フレキシブル台１０は、第二粘着シート５１上に取り外し可能なように粘着して定位される。

具体的には、第一固定部材は、フックで、それに対応して、第二固定部材は、フック或いはリングである。

或いは、第一固定部材は、フック或いはリングで、それに対応して、第二固定部材はフックである。

【００２２】

図５に示すように、本考案による第三実施形態の具体構造の大部分の構造は、第二実施形態と同じだが、その違いは次のとおりである。

【００２３】

金属フレキシブル板１１の下表面とソフトビニール１２は、マグネット取付凹部１０２を形成する。

金属フレキシブル板１１は、マグネット取付凹部１０２中に形成磁性面１０３を形成する。

磁性面１０３は、マグネット取付凹部１０２に露出し、マグネット取付凹部１０２中には、磁石７０を装置する。

磁石７０と磁性面１０３は、吸着して固定する。

底パッド５０は、磁石７０が吸着する磁性シート５２を有する。

粘着ステッカー４０は、磁性シート５２の背面に位置する。

磁性シート５２は、磁石或いは磁性金属片である。

磁性シート５２が磁石である時、磁石は、ソフト磁石で、曲げることができる。

磁性シートが磁性金属片である時、磁性金属片は柔軟に設置され、フレキシブル台１０は、磁性シート５２上に取り外し可能なように吸着定位される。

【００２４】

本考案の設計の重点は以下の通りである。

主に、フレキシブル台は、金属フレキシブル板、ソフトビニールを有し、サポート部材は、金属フレキシブル板の側面から一体に延伸して形成され、これによりサポート部材も湾曲フレキシブル性を備え、ソフトビニールは、カバーサポート部材を延伸し、これにより湾曲したダッシュボード上での使用時、あらかじめフレキシブル台の曲率を調整した後、固定接続面を通して、フレキシブル台をダッシュボード上に固定し、使用者は金属フレキシブル性を備えるサポート部材を必要に応じてねじったり曲げたりでき、人間の目から画面までの距離と角度を適当に調整でき、使用者が変わった際には、サポート部材の曲率及び角度を調整するだけでよく、フレキシブル台に対して調整する必要がないため、汎用性に優れ、さらにソフトビニールは、金属フレキシブル板に対して保護作用を発揮する。

【００２５】

次に、フレキシブル台の底部には、ソフトビニールと取り外し可能なように対応する底パッドを有し、粘着ステッカーは、底パッドの底部に設置され、フレキシブル台と底パッドとの間は、粘着定位、吸着定位を採用するため、取り付けに便利である。

【００２６】

以上は、本考案による実施形態に過ぎず、本考案の技術範囲に何らかの制限を加えるものではない。

よって、本考案の技術的性質に基づいて、上記の実施形態に加えられた軽微な修正、同等の変更、および修正は、依然としてこの本考案の技術的解決策の範囲内に含まれる。

【符号の説明】

【0027】

- 10 フレキシブル台、
- 11 金属フレキシブル板、
- 12 ソフトビニール、
- 101 固定接続面、
- 102 マグネット取付凹部、
- 103 磁性面、
- 20 サポート本体、
- 21 サポート部材、
- 211 ベース台、
- 22 アダプター、
- 30 電子製品固定装置、
- 40 粘着ステッカー、
- 41 取り外し可能粘着面、
- 50 底パッド、
- 51 第二粘着シート、
- 511 第二粘着面、
- 52 磁性シート、
- 60 第一粘着シート、
- 61 第一粘着面、
- 70 磁石、
- 80 滑り止めマット。

10

20

【手続補正2】

【補正対象書類名】 実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

30

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

ホルダーサポートベースであって、フレキシブル台、前記フレキシブル台に接続するサポート本体を有し、

前記フレキシブル台の底部には、フレキシブル台の固定に用いる固定接続面を有し、

前記フレキシブル台は、金属フレキシブル板、前記金属フレキシブル板外をカバーするソフトビニールを有し、

前記サポート本体は、サポート部材、電子製品に外付けするアダプターを有し、前記サポート部材の一端は、金属フレキシブル板に接続され、前記アダプターは、サポート部材の反対端に接続され、前記サポート部材は、金属フレキシブル板の側面から一体に延伸して形成され、前記ソフトビニールはカバーサポート部材を延伸する

40

ことを特徴とする

ホルダーサポートベース。

【請求項2】

前記フレキシブル台の底部には、粘着ステッカーを設置し、

前記粘着ステッカーは、粘着に用いる取り外し可能粘着面を有し、前記固定接続面を形成する

ことを特徴とする

50

請求項 1 に記載のホルダーサポートベース。

【請求項 3】

前記フレキシブル台の底部には、ソフトビニールと取り外し可能なように対応する底パッドを有し、前記粘着ステッカーは、底パッドの底部に設置されることを特徴とする

請求項 2 に記載のホルダーサポートベース。

【請求項 4】

ホルダーは、実用新案登録請求項 1 ～ 3 中の任意の一項のホルダーサポートベースを有し、電子製品を固定する電子製品固定装置をさらに有し、前記電子製品固定装置は、アダプターに接続されることを特徴とする

ホルダー。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 全図

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【図面】

【図 1】

【図 2】

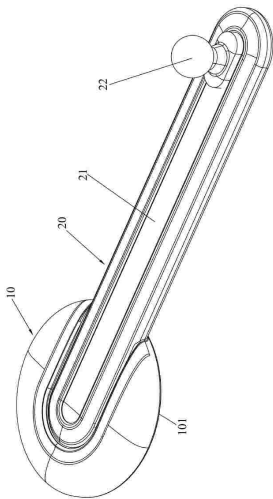


図 1

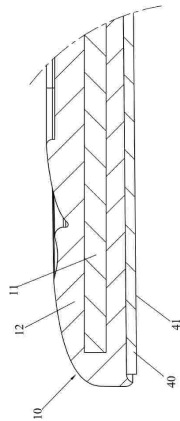


図 2

10

20

30

40

50

【図 3】

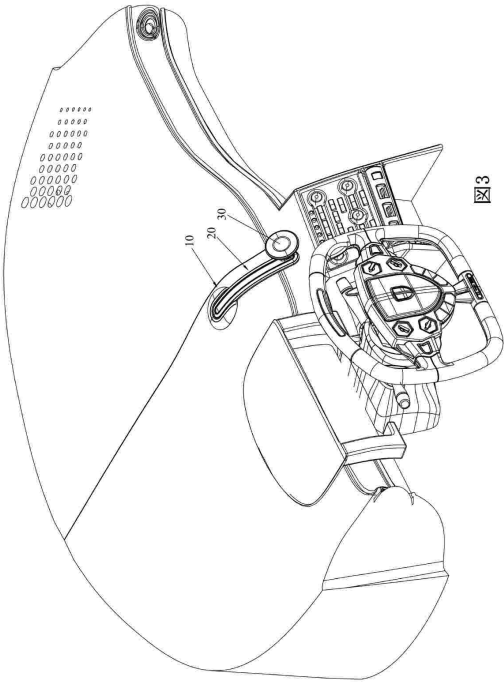


図3

【図 4】

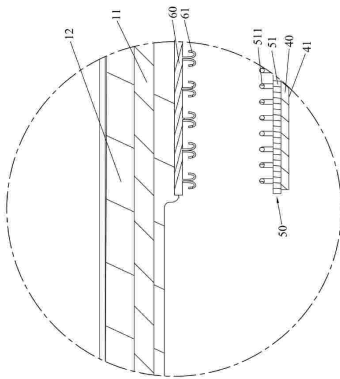


図4

【図 5】

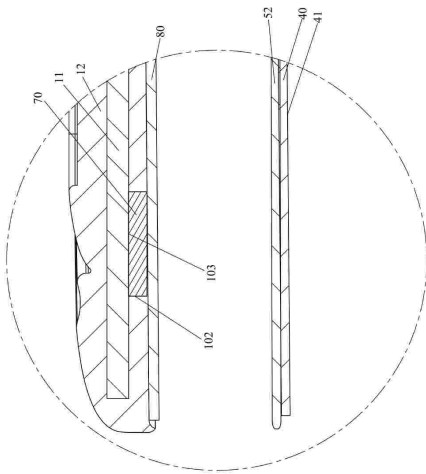


図5

【図 6】

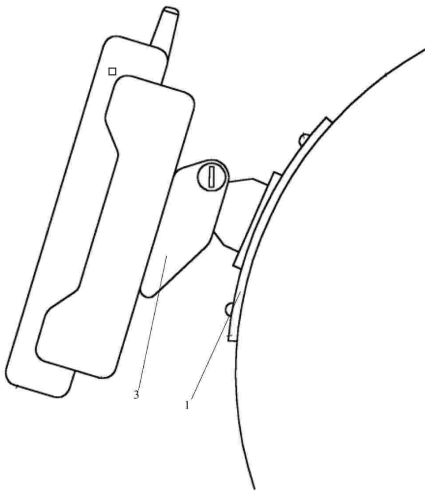


図6

10

20

30

40

50

【 図 7 】

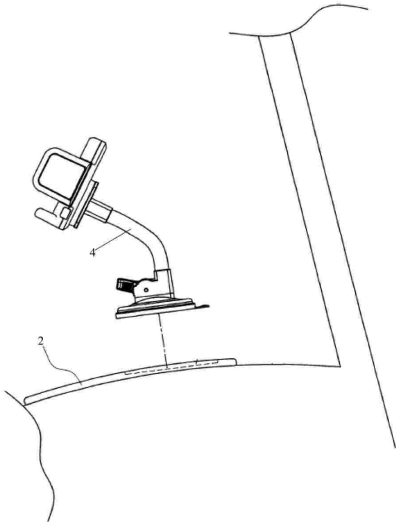


図7

10

20

30

40

50

フロントページの続き

【要約の続き】

ール12は金属フレキシブル板1

1に対して保護作用を発揮し、金属フレキシブル板11の展延性を高めることができる。

【選択図】 図1